

(2)

用地検討の概要

## 用地検討の概要（1 / 2）

項目	前回検討における主な指摘事項	今回検討
1. 関係市町村		印西市・白井市・栄町（本埜村・印旛村は印西市と合併）※平成22年3月23日
2. 検討期間		約18カ月（平成25年4月～平成26年9月）
3. 検討委員会の設置根拠		条例（組合議会の議決を得て設置）
4. 委員構成	①候補地の地元住民を委員に加えるべき	<p>学識経験委員 4人                      公募委員 10人（印西市住民5人・白井市住民3人・栄町住民2人）                      環境委員会委員 1人（印西市住民1人）                      合計 15人</p> <p>※公募委員の応募者総数は20人</p>
5. 会議開催日		日曜日に開催（第8回会議のみ平日開催）
6. 会議開催数		17回（別途、委員間の意見交換会を3回開催）
7. 会議の公開・非公開		公開
8. 傍聴者の人数		延べ204人（会議1回当たりの平均12人）
9. 会議資料・会議録の公表		公表（発言者名を会議録に記載する）
10. 広報の方法	①広報記事を見たことがない ②建替えが必要な理由を理解出来ない ③放射能問題を含む健康被害が不安 ④排出基準をより厳しくすべき	①組合ホームページ（適宜更新） ※トップページ上部に専用の入口を用意 ②関係市町ホームページ（適宜更新） ③組合広報紙（パブリックコメント募集及び候補地の公募で特集号2回発行） ※新聞折り込み及び印西地区内の駅・金融機関・行政施設、計67ヶ所で配布 ④関係市町広報紙（適宜掲載） ※新聞折り込み及び郵送等 ⑤町内会回覧（候補地の公募の際に印西地区内の全町内会を対象に実施） ⑥ポスティング（周辺住民意見交換会の対象町内会全戸に開催案内文を配布）
11. 施設規模	①施設規模が過大 ②ごみ減量化の取組みを先ずは強化すべき	ごみ焼却施設 156t/日程度 リサイクルセンター 15t/日程度 ※平成25年度に策定したごみ処理基本計画における将来推計ごみ量及び各種公表資料をベースに検討 ※工事仕様書作成時点における最新のごみ処理基本計画の将来推計ごみ量に基づき施設規模を精査する前提
12. 住民意見等の把握 （検討委員会の開催期間中）	①建設予定地の絞込み経緯が不透明且つ性急過ぎる ②住民説明は十分に時間を掛けて行うべき ③関係者が勝手に決定している印象を持つ ④説明を尽くさず強行している印象を持つ ⑤移転場所決定前に全体説明会を開催すべき ⑥地元説明会の後に全体説明会を開催すべき	①用地選定に関する意見書の受付（常時） ※提出方法は、組合窓口持参・郵送・ファクシミリ・電子メール ※提出数53通（委員33通、住民20通） ②公募委員の応募者が提出した小論文の公開 ※全20編中、同意を得た19編を公開 ③パブリックコメント募集（1回） ※印西地区全体を対象に候補地の選定方法に関する意見を募集（意見提出なし） ④説明会の開催（1回） ※印西地区全体を対象に候補地の選定方法に関する説明会を開催（出席者22人） ⑤候補地の応募を検討している個人及び町内会等を対象とした個別説明 ※候補地の募集要項に記載したが希望者及び希望町内会等なし ⑥⑦の対象町内会等の長へ事前事業説明の希望の有無を確認 ※全14町内会等の内、吉田区が希望（出席者数25人） ⑦周辺住民意見交換会の開催（各1回：全14回） ※3次審査中に各候補地の敷地境界から概ね300m以内に位置する14町内会等を対象に開催 ※対象世帯総数3,983、出席者総数286人 ※アンケート提出総数192通 ⑧全体意見交換会の開催（1回） ※3次審査中に印西地区全体を対象に開催 ※出席者数49人、アンケート提出数35通 ⑨審査結果報告会の開催（1回） ※最終答申書素案の決定後に印西地区全体を対象に開催 ※出席者数28人、アンケート提出数4通

## 用地検討の概要（2 / 2）

項目	前回検討における指摘事項	今回検討
13. 候補地の抽出条件	①駅周辺・住宅地近傍での整備は不適 ②NT外にも中間処理施設を計画すべき ③中間処理施設は関係市町村で持ち回るべき ④施設規模を縮小し必要面積を見直すべき	①抽出対象地は印西地区の全域 ②必要面積は2.5ha程度 ※現在地の敷地面積と同程度とするごみ処理基本計画検討委員会からの報告に基づく ③用地条件は洪水浸水地域及び自然公園法で規定する公園などを除外とする ④公募及び関係市町による推薦は、土地所有者全員の同意を条件とする
14. 候補地の抽出方法及び結果		候補地として全5箇所が抽出される（アンダーラインは候補地名） ①公募（4箇所） ※応募地は次のとおり 印西市 <u>岩戸地区</u> （旧印旛村） 印西市 草深地区（応募者の意向により取下げ） 印西市 <u>滝地区</u> （旧本埜村） 印西市 <u>武西地区</u> 印西市 武西地区②（応募者の意向により取下げ） 印西市 <u>吉田地区</u> （旧印旛村） ②関係市町による推薦（なし） ※新たな候補地の有無を照会したが推薦地なし ※前回検討における関係市町村の推薦地（泉・多々羅田、大森・草深、みどり台三丁目、岩戸、平塚の5箇所）について再度推薦の有無を照会したが推薦地なし ③ <b>現在地</b> （印西市大塚一丁目） ※建替用地を保有していることから候補地の1つとして位置付ける ④用地検討委員会による推薦（なし） ※上記①による応募及び②による推薦がなかった場合に検討することで決したが応募があったことから本推薦は行わない
15. 候補地の公表時点		候補地の抽出が完了した時点
16. 現地視察の有無	①推薦のあった段階で現地視察すべき	有（2回実施） ※第1回調査：2次審査における生活環境及び自然環境等の保全に着目 ※第2回調査：3次審査における地域社会貢献に着目 ※現施設、熱供給事業本部エネルギーセンター及び共同溝の視察も別途実施
17. 用地の比較評価項目等	①余熱利用に重点を置くべきではない ②液状化の検討資料が不適切	①比較評価項目数 大項目7 中項目なし 小項目12 ②大項目の区分及び配点率 生活環境の保全 (17.5%) ※以下2次審査 自然環境の保全 (12.5%) 法規制 (12.5%) 地盤の安定性 (7.5%) 周辺住民の理解度・協力度 (20.0%) ※以下3次審査 経済性 (15.0%) 地域社会貢献 (15.0%)
18. 評価段階		項目No.13及びNo.17における3段階評価（200点満点） 1次審査 用地条件の確認（評点対象外） 2次審査 施設の建設・運営に適さない用地を減点評価（100点からの減点） 3次審査 より良い施設となり得る用地を加点評価（100点までの加点） ※総合評点は2次審査における減点後の残点＋3次審査における加点
19. 地域振興事業		①リサイクルプラザ（環境学習及び啓発） ②その他の地域振興事業は建設候補地の決定後に周辺住民と協議 ※温水センターの取り扱いは未定
20. 概算事業費の算出	①高額な土地を新たに購入する妥当性が不明 ②住民負担が重くならないか心配 ③全体事業費を抑制する計画変更が必要 ④現在地が25億円で売却出来る前提は不適切 ⑤概算事業費の算出根拠が説明不足	全5箇所の候補地を対象に算出 ※土地の価格は不動産鑑定（意見書）に基づき設定 ※概算事業費を候補地の評点に反映させる
21. 管理者への報告（答申）		①中間答申：候補地の選定方法 ②最終答申：全5箇所の候補地の評点及び候補地毎の特徴などを記述